

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

メディア・ジャーナリズムプログラム

履修のしかた メディア・ジャーナリズムプログラムは、メディア業界をめざす学生はもちろん、少しでも自分のメディアリテラシーを高めたいと思う学生こそ大歓迎します。カリキュラムは「導入」「検証」「演習」と、次第に専門性を高めていく方式を採用しています。計画的に学習すれば、メディアやジャーナリズムについての体系的知識や実践につながる利用法などを身につけることが可能です。 ・1年次に履修しておいた方がいい科目 まず、メディア各界に関する基本的知識を身につける「新聞の世界」など 4 科目からなる「世界シリーズ」を1科目か 2 科目履修して、この世界を身近に感じることをお勧めします。さらに、必修基礎科目である「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」のいくつかを履修し、メディア・ジャーナリズムの歴史や論理、つまり根本的な知識を身に付けてください。 ・2年次に履修しておいた方がいい科目 導入科目を押さえたら、次は「読むシリーズ」と「ジャーナリズムシリーズ」に挑戦してください。これらは実践的にジャーナリズムに触れて、その実情を理解する科目です。「読む」は「新聞社説」「英字紙」「ドキュメンタリー」など、「ジャーナリズム」には「日本」「アメリカ」「アジア」「出版」「スポーツ」などを多彩な科目が用意されています。 ・3 年次科目の注意点 「マスコミ特訓講座」と「メディア特講」は注意が必要です。「マスコミ」では「新聞、出版、映像、ネット」の 4 科目、「研究」では、戦場ジャーナリズム、まんが・アニメ、若者とメディアリテラシーの 3 科目があります。いずれも複数履修可能です。そのほか「メディアとジェンダー」「メディアと人権」「子供とメディア」など演習形式で深く学ぶ科目も用意されています。 ・先修条件 詳しくは科目表を見てもらえば分かりますが、このプログラムを修了するためには、「日本国憲法」「アカデミックライティングⅡ」なども履修が必要です。これらの科目は早めに履修したほうが、のちの時間割づくりが楽になります。	他のプログラムとの関係 ・他のプログラムで履修を推奨する科目 メディアやジャーナリズムを学修する際には注意が必要です。このプログラムで学ぶメディアは簡単に言うと「媒体」のこと、ジャーナリズムは「言論の手法や目的」のこと、つまり両方とも「容器」のことです。一方、実際に伝えられる「中身」「コンテンツ」は政治であり、経済であり、国際問題などもあります。さらにそれらをよりよく理解・実践するには歴史や哲学、思想などの知識も欠かせません。このことに留意して、このプログラムの学生はメディア・ジャーナリズム関連科目ばかりでなく政治、法律、経済、国際関係、社会問題、歴史、哲学など、幅広く履修することを望みます。
留学・教職その他 とくにありません。	学生へのメッセージ メディア・ジャーナリズムをめぐる環境は昨今、好ましいものとは言えません。ネットにあふれるメディアに対する罵詈雑言、とくに「マスゴミ」といった呼称は皆さんもよく目にとめることと思います。こうした批判の中には、確かに正鵠を射ているものもあり、新聞やテレビなどいわゆるオールドメディアが反省を迫られるものも少なくありません。 しかし、だからと言って、これまでメディア、とくにジャーナリズムが過去数世紀にわたって果たしてきた役割は記憶すべきですし、現在・将来にわたって、自由で民主的な市民社会を保持していくという責務の必要性が減じるとは思えません。

このプログラムを専攻することで、ぜひともそのあたりの歴史と展望、理論と実践を学び、メディアリテラシーを向上させていただきたいと思います。

プログラムの教員のほとんどはメディア業界で働いた経験の持ち主です。この業界の仕事はおおむね、時間的、体力的、精神的に厳しいのが相場です。一方で、楽しく、わくわくする経験も味わえ、病みつきになるほどです。プログラムでは、そうした経験談にも触れて、業界にチャレンジする学生が増えることを望んでいます。

メディア・ジャーナリズムプログラム

1 活字メディア専門向けモデル

本履修モデルは、新聞や出版といった「活字メディア」についての歴史や展望、理論や哲学などを講義形式の授業で学ぶだけではなく、実際に読んで書き調べたり、「ジャーナリスト」としての素養を身につけることを目的としています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」のほか、「世界シリーズ」では「新聞」と「出版」、「ジャーナリズムシリーズ」は「日本」「出版」など、「読む」シリーズは「新聞社説」「地方紙」などを中心に時間割を作ったらどうでしょうか。マスコミ特訓講座のうち、「新聞」と「出版」はぜひものです。就職活動の助けになります。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

Level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリスト入門	2		文化社会学A	2						
	◎	メディア法	2		文化社会学B	2						
	◎	メディア概論	2		科学・技術・社会A	2						
		日本史概論B	2		科学・技術・社会B	2						
					国際経済学	2						
基礎		テレビ・放送の世界	2									
	○	新聞の世界	2									
	○	出版の世界	2									
		広告の世界	2									
応用・その他				○	出版ジャーナリズム	2	○	メディアと人権	2			
				○	スポーツジャーナリズム	2		環境とメディア	2			
				○	日本のジャーナリズム	2		メディアとジェンダー	2			
				○	アメリカのジャーナリズム	2		子供とメディア	2			
				○	アジアのジャーナリズム	2	○	雑誌をつくる(編集理論)	2			
					ネットジャーナリズム	2	○	雑誌をつくる(編集実務)	2			
				○	新聞社説を読む	2	○	マスコミ特訓講座	2			
				○	地方紙を読む	2						
				○	英字紙を読む	2						
					広告コピーを読む	2						
					ドキュメンタリーを見る	2						
					メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

メディア・ジャーナリズムプログラム

2 映像メディア専門者向け履修モデル

本履修モデルは、テレビや広告といった「映像メディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、テレビ業界、広告業界をめざす学生に、必要な素養を身につけることを目的にしています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリスト入門」「メディア法」「メディア概論」は導入編です。このプログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。

次に「テレビ・放送の世界」「広告の世界」「広告コピーを読む」「ドキュメンタリーを見る」などの授業で専門性を身につけてください。「マスコミ特訓講座」のなかの「映像」も就活に役立ちます。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

Level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリスト入門	2		文化社会学A	2						
	◎	メディア法	2		文化社会学B	2						
	◎	メディア概論	2		科学・技術・社会A	2						
		日本史概論B	2		科学・技術・社会B	2						
					国際経済学	2						
基礎	○	テレビ・放送の世界	2									
		新聞の世界	2									
		出版の世界	2									
	○	広告の世界	2									
応用・その他					出版ジャーナリズム	2	○	メディアと人権	2			
				○	スポーツジャーナリズム	2		環境とメディア	2			
				○	日本のジャーナリズム	2		メディアとジェンダー	2			
				○	アメリカのジャーナリズム	2	○	子供とメディア	2			
				○	アジアのジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集理論)	2			
					ネットジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集実務)	2			
					新聞社説を読む	2	○	マスコミ特訓講座	2			
					地方紙を読む	2						
					英字紙を読む	2						
				○	広告コピーを読む	2						
				○	ドキュメンタリーを見る	2						
				○	メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

メディア・ジャーナリズムプログラム

3 ネットメディア専門家向け履修モデル

本履修モデルは、「インターネットメディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、ネットジャーナリストやウェブ編集者としての素養を身につけることを狙っています。

必修の「ジャーナリズム史」「ジャーナリス入門」「メディア法」「メディア概論」は導入編です。まずはこのプログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。

次に「ネットジャーナリズム」、「マスコミ特訓講座(インターネット)」などで専門的にネットジャーナリズムを学んでください。同時に、「世界シリーズ」「ジャーナリズムシリーズ」などで他のメディア業界や世界各地のジャーナリズムに目配りすると、バランスの取れた知識を確立できます。

メディア・ジャーナリズムプログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
理論・歴史	◎	ジャーナリズム史	2		政治学概論	2						
	◎	ジャーナリス入門	2		文化社会学A	2						
	◎	メディア法	2		文化社会学B	2						
	◎	メディア概論	2		科学・技術・社会A	2						
		日本史概論B	2		科学・技術・社会B	2						
					国際経済学	2						
基礎		テレビ・放送の世界	2									
		新聞の世界	2									
		出版の世界	2									
		広告の世界	2									
応用・その他					出版ジャーナリズム	2	○	メディアと人権	2			
					スポーツジャーナリズム	2		環境とメディア	2			
				○	日本のジャーナリズム	2		メディアとジェンダー	2			
				○	アメリカのジャーナリズム	2		子供とメディア	2			
				○	アジアのジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集理論)	2			
				○	ネットジャーナリズム	2		雑誌をつくる(編集実務)	2			
					新聞社説を読む	2	○	マスコミ特訓講座	2			
					地方紙を読む	2						
				○	英字紙を読む	2						
					広告コピーを読む	2						
					ドキュメンタリーを見る	2						
					メディア特講	2						
					社会調査法A(質的調査)	2						
					社会調査法B(量的調査)	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数